

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
鍼灸科											
灸実技 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実技	時間数	30	単位	1
担当教員	宮本陽平			実務 経験	有	職種	鍼灸師				
授業概要											
灸施術の基本技術について実習し、透熱灸施術の精度を向上し、各種無痕灸、温灸施術の基本動作を身に付けることを目的とする。人体各所へ透熱灸施術ができる、熱緩和操作をし、熱くない灸を据えること、また、知熱灸をはじめ、各種の温灸の施術法を学び、安全に施術出来るようになることを目指す。また、実習を通じて医療従事者としての心構えを学び、医療者としてふさわしい身なり、態度、言葉遣いを理解、実践し、身につける。											
到達目標											
灸施術に関する基本的な知識と技術を修得し、灸施術を安全かつ確実にを行う能力を身につけるために、無痕灸に関する基本的知識を覚える、知熱灸の艾炷の作り方、燃焼した艾炷の処理の仕方、相手の身体への各種温灸施術を安全に確実にできるようになることが目標である。また、相手に対して失礼なく施術できるように、医療従事者としてふさわしい言葉遣い、態度、姿勢を身につけることを目標とする。											
授業方法											
実習を通じて、透熱灸の技術レベルを向上させていく。透熱灸を身体各部位で施術できるよう艾炷の大きさの調節、熱緩和操作を練習する。それとともに、各種温灸の施術方法を身に付ける。知熱灸の艾炷作成、点火、灰の処理を練習する。隔物灸、棒灸、焙烙灸、濡紙灸、温灸器などを用いて、温法としての灸施術を練習し、施灸技術の向上を図るとともに、医療従事者として相手に対しどのような配慮が必要なのかを考えながら練習する。											
成績評価方法											
期末試験を中心に平常授業での態度、課題提出状況などを加味して評価する。											
履修上の注意											
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。											
教科書教材											
はりきゅう実技											
回数	授業計画										
第1回	知熱灸										
第2回	知熱灸透熱灸										
第3回	透熱灸知熱灸										

## 鍼灸科

## 灸実技 2

第4回	透熱灸棒灸
第5回	生姜灸
第6回	塩灸透熱灸
第7回	MT温灸温筒灸
第8回	おわん灸透熱灸
第9回	水灸透熱灸
第10回	透熱灸試験対策
第11回	透熱灸試験対策
第12回	試験対策
第13回	透熱灸
第14回	透熱灸
第15回	透熱灸